

第2回 北区岩淵周辺地区 かわまちづくり計画協議会

令和6年7月11日

北区まちづくり部まちづくり推進課

令和6年度 第2回 北区岩淵周辺地区かわまちづくり計画協議会

次 第

日時 令和6年7月11日（木）18時～20時

場所 荒川下流河川事務所1階 アモアホール

1. 開会
2. 議事
 - （1）第1回協議会の振り返り
 - （2）かわまちづくりのビジョンについて
 - （3）ゾーニング・利活用案について
 - （4）推進体制について
3. 次回の日程について
4. 閉会

目次

1. 第1回協議会でのご意見
2. かわまちづくりの方向性・ビジョン
3. 地域資源の有効利用（案）
4. ゾーニングについて
5. 利活用案
6. 整備案検討における視点
7. かわまちづくり支援制度の活用例
8. かわまちづくり計画の推進体制について
9. 今後のスケジュール

1. 第1回協議会でのご意見

●第1回協議会の振り返り

■開催日時

令和6年5月25日（土）10時～12時

■開催概要

- 北区岩淵周辺地区かわまちづくり計画協議会の運営、かわまちづくり計画の策定や対象エリアの確認を行った。
- まちあるき（現地視察）を行い、対象エリア周辺の課題や魅力について確認を行った。
- 視察内容を踏まえて意見交換を行い、対象エリアについて議論を行った。



意見交換の様子



赤水門視察の様子



屋上より対象エリア確認の様子

1. 第1回協議会でのご意見

●活用に関するご意見

かわ

北区ニュース
での情報発信

水面・河川敷

- ・貸しボートの運用
- ・水上バスの運行
赤水門をルートに！
- ・リバーステーションの活用
- ・仕掛け花火
- ・キッチンカー
(野球場のあたりにも)
- ・バーベキュー
- ・舟で綱引き
- ・Park-PFIの活用

旧岩淵水門（赤水門）が
国の重要文化財指定に向け答申！

まち

荒川・岩淵水門を 中心とした防災・観光拠点化

河川敷でのアウトドア、バーベキュー等の水辺の活用

荒川を活かした 上下流・対岸への利活用の展開

新河岸川、隅田川、荒川の舟運、防災船着き場の活用

まちとかわのつながりを強化

サイクリストなどがかわからまちへ
駅から“かわ”に誘う仕掛け

アモアの活用

- ・サイクリストが求める
機能の付加
- ・オリジナルカフェ
メニュー
- ・宮村忠文庫や水の知識



学び・体験、自然・環境学習

- ・Eボート体験
- ・ヨシ刈り
- ・ヨシで舟をつくる

駅からの交通

- ・Kバスの運行
- ・レンタサイクルや電動キックボード
- ・八雲神社、アモアの駐輪場活用
- ・道路の舗装等“かわ”に誘う設え

1. 第1回協議会でのご意見

●ワークシートのご意見

視点	かわ		まち	
	魅力・良いところ	課題・解決したいこと	魅力・良いところ	課題・解決したいこと
地域資源	・変化のある河川景観 ・歴史的価値（重要文化財）の旧岩淵水門（赤水門） ・河川敷の広いスペース	・かわとまちが堤防で分断 ・区内外への周知・アピール	・八雲神社など歴史的な建物 ・リノベされたショップ ・住まい手の雰囲気表れた景観、下町情緒ある町並み ・赤羽駅は鉄道の結末点	・まち側からかわの賑わいを感じられるようにしたい ・木密地域で道路が狭い ・駅からの道が狭い
利活用状況	・バーベキュー、サイクリング、釣り様々なアクティビティあり ・土日はバーベキュー利用者が多い ・上下流のつながりが強く、サイクリング、ジョギングなどの通過利用が多い	・滞在空間が少ない ・歩行者の動線が分断されている ・平日は利用者が少ない ・キッチンカーなどの出店等 ・競技スポーツの充実（ストリートバスケ等）	・リノベされた新しいショップ、雰囲気ある建物	・かわのアクティビティのメリットをまち側が活かす ・赤羽に比べて飲食店が少ない
かわとまちのつながり		・駅からやや遠い ・赤羽駅からかわ、岩淵側からバーベキュー場へのアクセス ・堤防上からまち側も眺められるとよい	・駅から川まで近い間に商店街がある ・街道でアクセスできる立地	・駅、商店街からかわまでのアクセス、サイン計画 ・まち側からかわの様子がわかりにくい ・岩淵駅から荒川までの道路拡幅
その他	・荒川知水資料館 学習施設がある	・荒川知水資料館の有効利用 ・新河岸川緑地横のテニスコート奥のコンクリートエリアの充実 ・消防訓練をしやすくする		・荒川を挟んだ両地域の交流を深める ・河川事務所寮の空室利用

かわ



まち

1. 第1回協議会でのご意見 “まとめ”

ターゲット

- かわ**
- 
- ・サイクリスト
 - ・ランナー
 - ・野球などグラウンド利用者

- まち**
- 
- ・近隣住民
 - ・遠方からの来訪者



アクセス・誘導

- かわ**
- 
- ・新河岸川・荒川の堤防からまちを望める
 - ・まち側からかわを感じられるように
 - ・川側からまちへの誘導

- まち**
- 
- ・Kバス
 - ・シェアサイクル
 - ・電動キックボード
 - ・駅から川の間の商店街・道の工夫



まちづくり・活用アイデア

- かわ**
- 
- ・貸しボート
 - ・水上バス、水上アクティビティ
 - ・キッチンカー
 - ・イベント（対岸含む）
 - ・自然体験、ヨシ刈、Eボート

- まち**
- 
- ・駅からの誘導、サイン、道路の舗装など
 - ・駅から川の間の商店街の活用
 - ・目的地となる店や場所を増やす
 - ・アモアの活用（拠点化）
 - ・寮の空き部屋活用

2. かわまちづくりの方向性・ビジョン

かわまち づくり

交流機会の増加・来訪者の促進・地域力の向上

北区の 上位計画

北区ならではの個性あふれる公園や水辺空間に、
区内外から人々が集い、新たな交流やまちのにぎわいが生まれる姿をめざす

出典：北区基本計画2024

荒川将来像 計画

治水の歴史を感じるランドマークとしての空間整備

出典：荒川将来像計画地区別計画（北区）

岩淵地区 の特徴

- ・八雲神社や街道、商店街など歴史を感じるまちと広い河川空間
- ・重要文化財に登録予定の旧岩淵水門（赤水門）
- ・サイクリスト、バーベキューなどの利用者も多い荒川

第1回 協議会 ご意見

- ・住民、来訪者にトラブルなく両者にとってWinWinに
- ・“かわ”から“まち”、“まち”から“かわ”への誘導・つながり
- ・新しいとりくみの応援の場

<キーワード>

自然との共生、文化、新たな交流、にぎわい、防災（フェーズフリー）

主にワークシートから整理

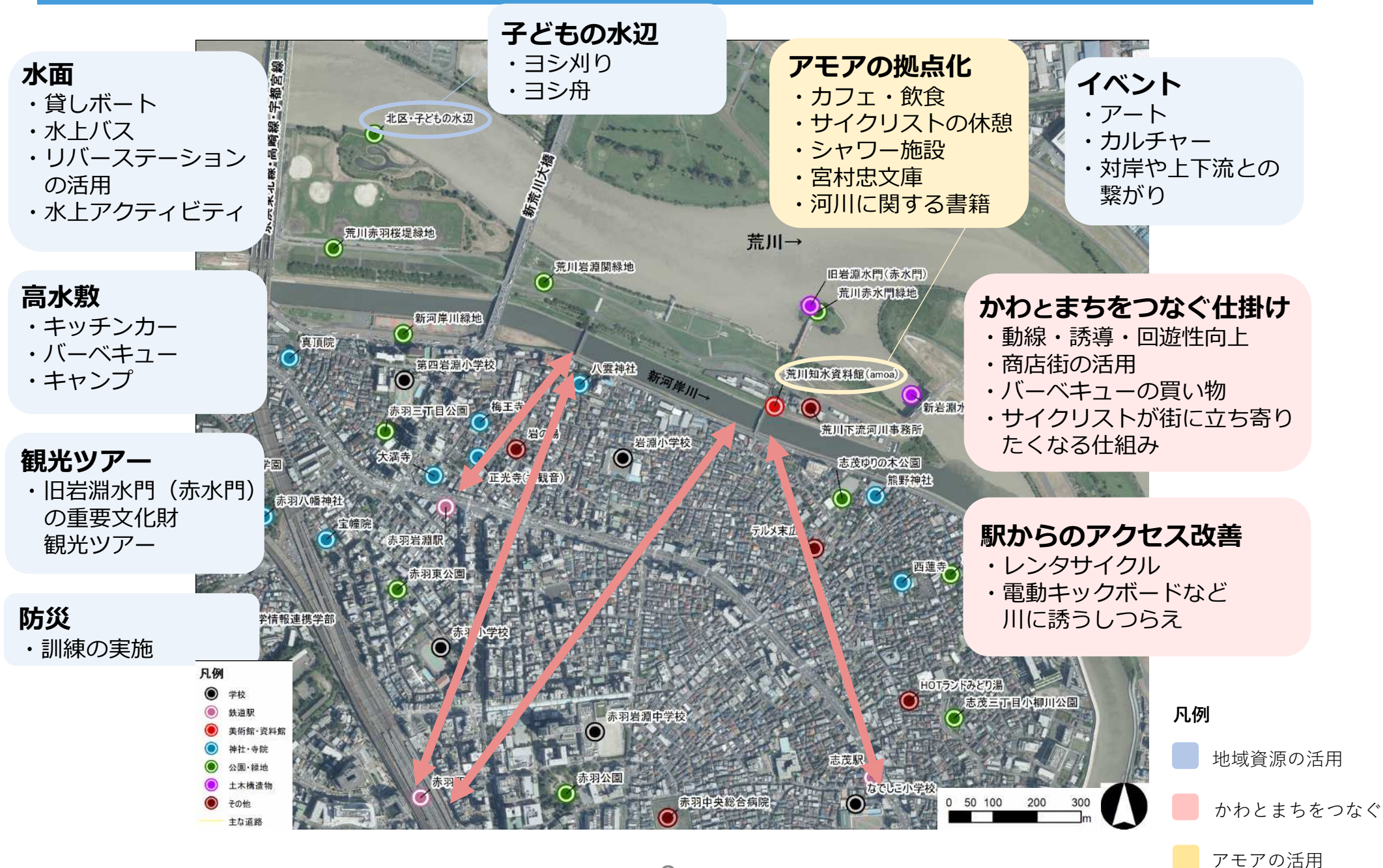
ビジョン（案）

『水辺・ひと・まちをつなぐ
自然環境と調和した にぎわいをもたらす交流拠点』

方向性

- ・岩淵水門がある荒川と岩淵・志茂のまちがもつ魅力を活かす
- ・荒川とまちの繋がりを強める、誘導・回遊性
- ・新しいことができる場 魅力 ワクワク 発信

3. 地域資源の有効利用（案）



3. 地域資源の有効利用（案） 利用対象者別の活用例



岩淵や志茂
赤羽の住民

アクセス：かわ沿いの家から歩き、自転車などで訪れる
まち：住んでいる場所
かわ：子育て世代⇒子どもとのあそび場、子どもの水辺（自然体験学習）
高齢者など⇒日常の散歩、健康のためのランニングなど
防災訓練などで訪れる、荒川放水路の歴史を学ぶ、防災学習、
水辺のカフェで休憩



サイクリスト・
ランナー
(来街者)

アクセス：荒川の堤防沿いを自転車または走る
まち：目的地となる休憩場所などがあれば立ち寄る
かわ沿いにあるお店やアモアのカフェで、エネルギーチャージしたい
かわ：安全に走りやすい場所、木陰などで休憩



野球場の利用者
選手・応援見学者
(遠方からも訪れる)



アクセス：車、自転車など
まち：目的地となる休憩場所、スポーツ後の銭湯などがあれば立ち寄る
かわ：木陰で休憩、キッチンカー冷たい飲み物を調達して熱中症対策



バーベキュー利用者
(来街者)



まち：駅から荒川までバーベキューの買い出しをしながら楽しく移動できる
かわ：バーベキューをしながら、水辺の舟に乗ったり、岩淵水門を見学したり
いくつかのことを楽しめるので充実して過ごせる



遠くから訪れる
イベント・
観光利用
(来街者)



アクセス：行き 駅から歩いてかわまで移動（まち:回遊性,アクセス性向上,導線の工夫）
帰り 水上交通を使って船で移動
かわ：①かわで音楽イベントや花火があるので訪れる
イベントが始まるまでは、荒川知水資料館を見学できる
②旧岩淵水門(赤水門)の見学を目的として訪れ、荒川知水資料館も見学
③キャンプなどのアウトドアで荒川の自然を楽しむ



現状



4. ゾーニングについて（かわ）

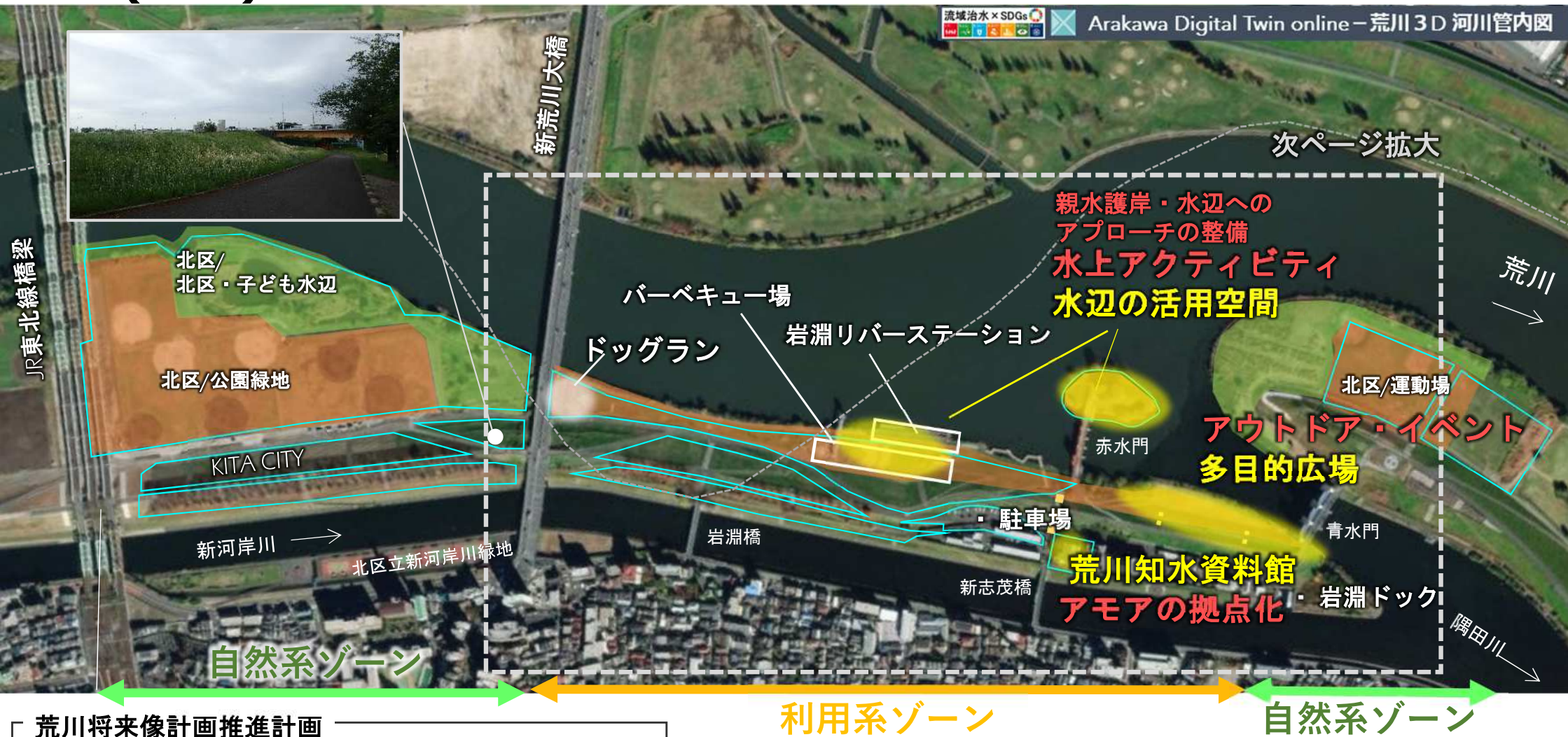
計画(黄色)

荒川将来像計画推進計画（改訂原案）の利用系ゾーンの範囲内で、活用の可能性がある箇所を示す



5. 利活用案（かわ）

活用(朱色) 活用内容に応じて必要な施設の整備を行う。



荒川将来像計画推進計画

土地利用区分（令和4年現況）

- 自然系ゾーン
- 多目的地

ゾーニング区分（計画）

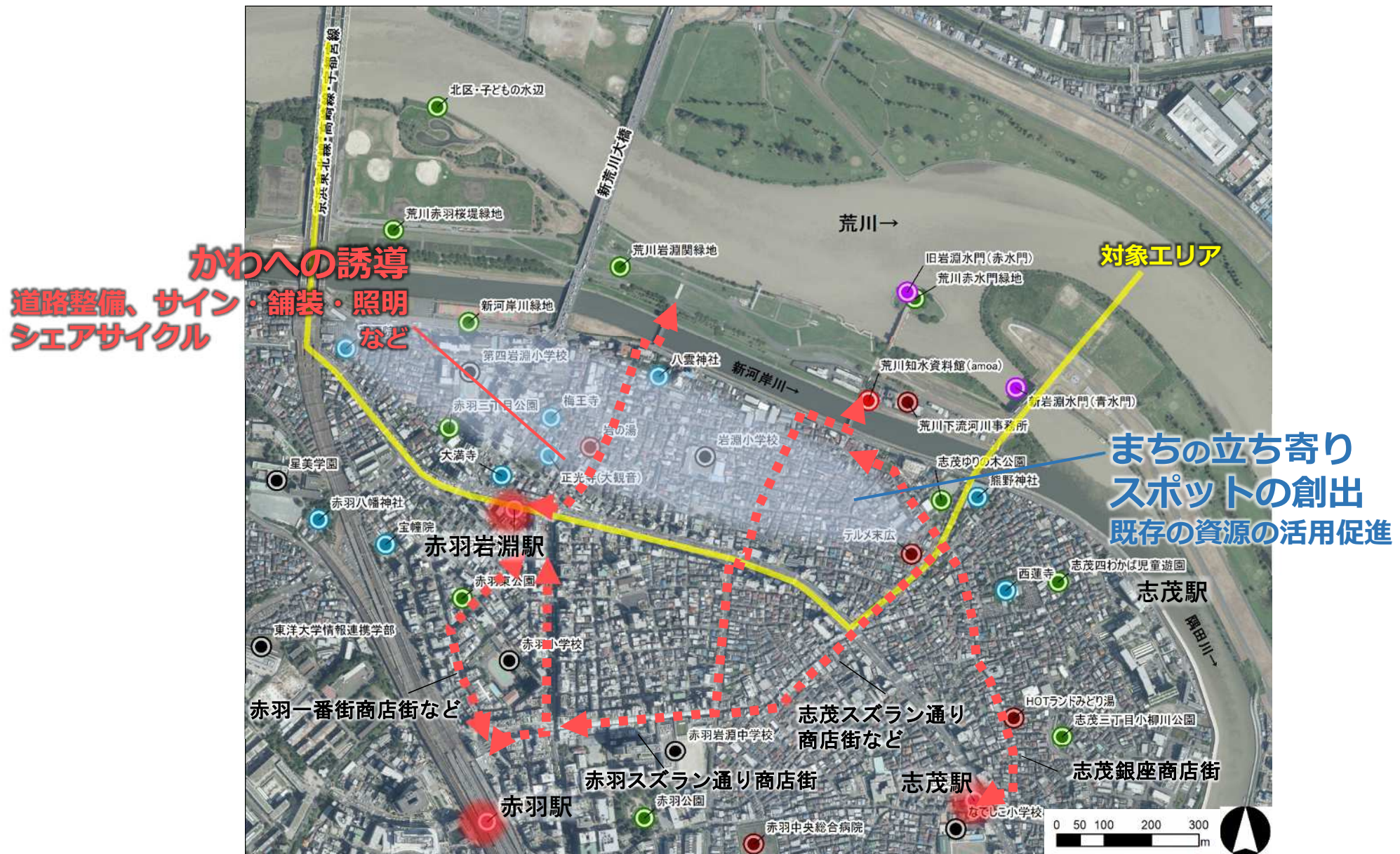
- 自然系ゾーン
- 利用系ゾーン

- 占用地
- 行政境界

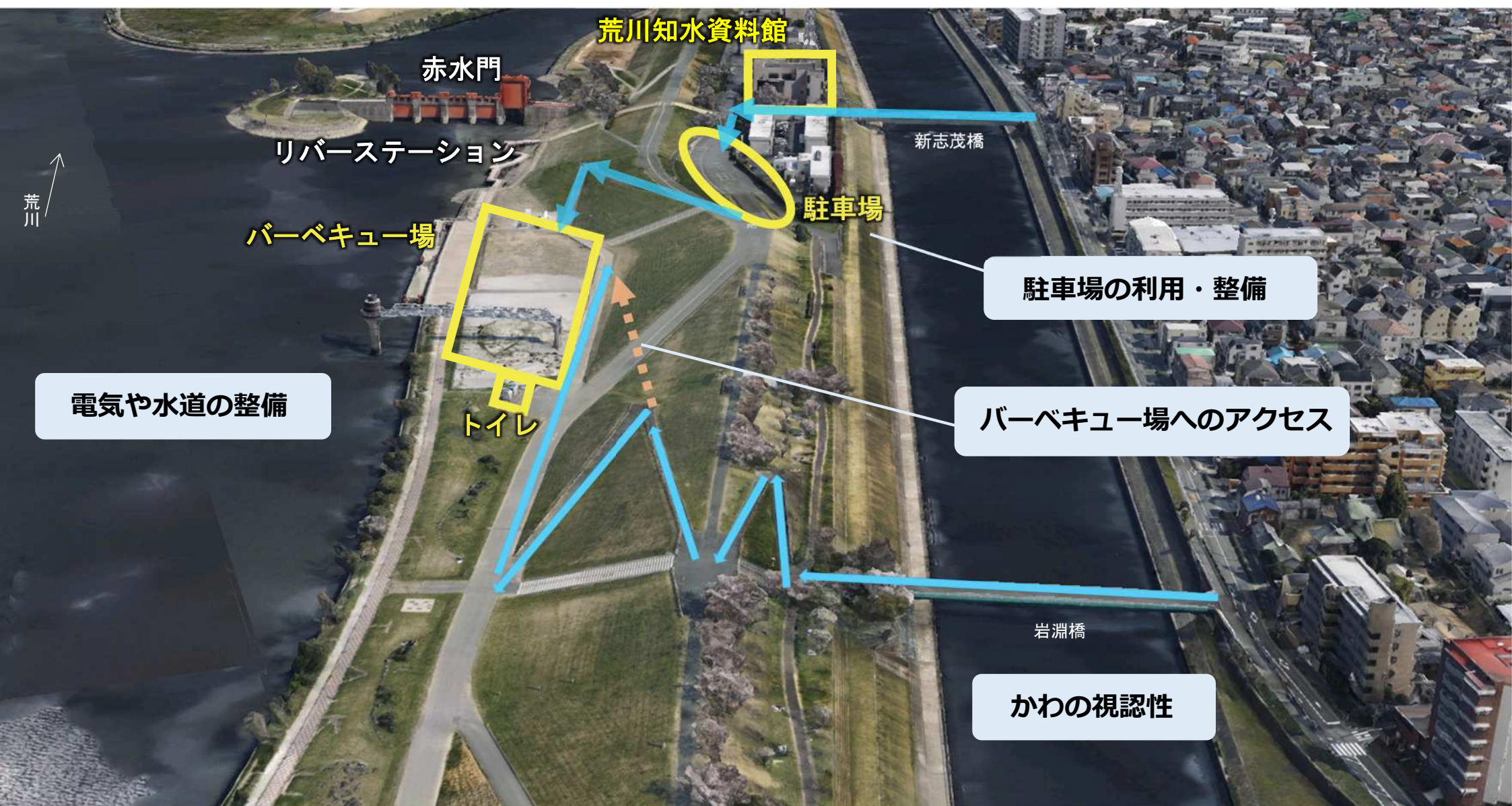
5. 利活用案 - 地域資源を活用した活用イメージ -



5. 利活用案 - まちとかわのつながり強化 -



6. 整備案検討における視点 -バーベキュー場周辺-



6. 整備案検討における視点 -赤水門・青水門周辺-



6. 整備案検討における視点 -まちとかわの繋がり-



施設の整備（ハード施策）

[illegible]

河川空間のオープン化

平成28年度には、準則を改正し、民間事業者等への占有許可期間を「3年以内」から「**10年以内**へと延長しました。



8. かわまちづくり計画の推進体制について

◆ 推進体制

北区、地域住民、観光協会等の関係団体、有識者等で構成する協議会において、関係者間の調整を図りつつ、ハード整備及びソフト施策を推進する。

Step1

現行の状態で社会実験を継続して実施し、対象地域における利活用のイメージを作りながら、対象地域で主体となって活動を行う民間事業者や団体とのマッチングを行う。



Step2

社会実験の効果を検証するとともに、社会実験の課題をふまえ河川空間のオープン化とその運営体制等を検討する。



Step3

対象地域で主体となって活動を行う事業者を募集・選定し、民間事業者・団体などを中心とした、かわとまちの賑わいを創出するための推進体制を構築する。

9. 今後のスケジュール

令和6年度 スケジュール

- 第1回協議会 R6.5.25

- ・かわまちづくりのイメージの共有
- ・活用アイデアについての意見交換

- 第2回協議会 R6.7.11

- ・ソフト・ハード施策に関する意見交換

- 第3回協議会 R6.10

- ・パブリックコメントに向けた素案の確認

- パブリックコメント 実施

- ・計画案について広く区民の意見収集を実施

- 第4回協議会 R7.3

- ・協議会の議論とパブリックコメントの意見を踏まえた「かわまちづくり計画（案）」の確認
- ・今後の方針と予定の確認

本日！

令和7年度 スケジュール

- かわまちづくり計画 申請

- ・申請受付期間
4月23日～6月21日（R6年度）

- かわまちづくり計画審査

- かわまちづくり計画登録 R7.8

目標